



## 📷 高校生が地域の史跡を清掃



3月17日、加世田常潤高校の生徒と教職員約70人が、竹田神社のいにしへの道周辺をボランティア清掃しました。長さ約200mのいにしへの道の石畳や同校の校名の由来となった常潤院跡などに積もった落ち葉をほうきで掃き、一輪車に載せて運び出していました。約1時間の清掃で、半年近く積もっていた落ち葉が取り除かれた風格ある史跡を生徒たちは達成感に満ちた表情で眺めていました。

## 📷 子どもたちの命を守ろう



市では「誰も自殺に追い込まれることのない南さつま市」を目指し、自殺対策を支える人材の育成や若年層への支援に取り組んでいます。3月17日、思春期の子どもに身近な学校教諭を対象にあんぼう21で「こころの健康づくり講演会」が開催されました。講師の高橋聡美さん(本市万世出身)は「子どものSOSをありのままに受け止め、子どもが見えている情景を見させてもらう受容と傾聴の姿勢を忘れずに」と参加者に伝えました。

## 📷 給食でおいしい牛肉味わって



ふるさと納税の返礼品事業者で構成する「チーム南さつま」ふるさと納税振興協議会は、市内の児童・生徒に本市の食材で食の楽しさ・地域の魅力を感じてほしいと、3月15日の学校給食に牛肉180gを無償提供しました。

牛肉は、サイコロステーキとして全校にふるまわれ、大浦小学校では6年生9人が「柔らかくておいしい」「いくらでも食べられる」と嬉しそうに頬張っていました。

## 📷 おいしいお米に育ってね



4月10日、小湊小学校の5・6年生9人が田植えを体験しました。約1畝の水田を提供した小園辰二郎さんのお米の説明を熱心にきいたあと、はだしで水につかりもち米の苗を手植えました。今後は生育を観察しながら、8月初旬に稲刈り、12月には餅つきをして自分たちが育てたもち米を味わいます。6年生の福島翔くんは「苗の持ち方や植える間隔など昨年よりも上手にできた」と楽しそうに話しました。